

令和5年度仙台市障害者親善国際交流事業として台南市を訪問しました

令和5年11月28日
社会福祉法人仙台市障害者福祉協会

令和5年11月5日(日)～11月9日(木)にかけて、令和5年度仙台市障害者親善国際交流事業として台南市を訪問しました。

台南市は仙台市と交流促進協定締結都市であり、台南市身心障害体育運動委員会と当協会とは友好関係締結協定団体ということもあり、これまで10年以上にわたり交流を続けてきております。本来であれば、令和2年度に台南市を訪問する予定でありましたが、新型コロナウイルスの影響で4年ぶりの訪問となりました。

到着時は遅い時間にもかかわらず桃園空港までリフト付きバスで迎えに来ていただき、行程中も台南市で手配して下さったリフト付きバスで各所を視察しました。

2日目の午前中に訪問した「台南市災害防救弁公室」では、台南市の災害について学びました。日本同様台湾も地震が多く、以前発生した大規模地震を機に災害についての意識が見直されたようです。市民向けの防災ハンドブックも配布されましたが、日本語版のハンドブックがあることに驚きました。各国のハンドブックを作成することで、いざという時に備えられるようにしているようです。

また、午後からは知的障害の施設と高齢者の施設を訪問しました。知的障害者の施設では太鼓の演奏で出迎えてもらい、盛大な歓迎を受けました。来年で50周年を迎える歴史ある児童の施設で、希望があれば就学時前からも受け入れることができるようです。3日目の午前には別の知的障害施設を訪問しました。この施設では多くの利用者を受け入れており、創作や日中活動を行っておりました。なかでも目玉商品のクッキーはインターネットからも注文が殺到し、年間を通じて売り上げが伸びているようでした。また、この施設ではスポーツ活動にも力を入れており、様々なトロフィーが飾られていました。国からも表彰されているほどスポーツを通じて社会参加をしている施設でした。

4泊5日の日程の中で施設見学や台南市の方々との交流を通じ、台湾の文化と日本の文化の違いや特色を肌で感じる事ができました。

